

末永國紀教授 略 歴

末永國紀教授 主要著作目録

Professor Kunitoshi Suyenaga's Career and List of his Publications

末永國紀教授 略 歴

1943(昭和18)年 2 月 福岡県遠賀郡香月町(現・北九州市八幡西区)に生まれる

学 歴

1967(昭和42)年 3 月 同志社大学経済学部卒業
 1970(昭和45)年 3 月 同志社大学大学院経済学研究科修士課程修了
 1973(昭和48)年 3 月 同志社大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学
 1997(平成9)年 1 月 博士(経済学)(同志社大学)

職 歴

1973(昭和48)年 9 月 京都産業大学経済学部専任講師
 1975(昭和50)年 4 月 同志社大学経済学部嘱託講師(1978年3月まで)
 1978(昭和53)年 4 月 京都産業大学経済学部助教授
 1981(昭和56)年 9 月 同志社大学経済学部嘱託講師(1983年3月まで)
 1985(昭和60)年 4 月 京都産業大学経済学部教授
 1988(昭和63)年 4 月 財団法人近江商人郷土館館長
 1989(平成1)年 4 月 京都産業大学大学院経済学研究科博士前期課程教授
 1990(平成2)年 4 月 同志社大学経済学部教授
 京都産業大学経済学部非常勤講師(1993年3月まで)
 1992(平成4)年 4 月 同志社大学大学院経済学研究科博士前期課程教授
 1994(平成6)年 4 月 京都産業大学経済学部非常勤講師(1996年3月まで)
 1995(平成7)年 4 月 同志社大学評議員(1997年3月まで)
 京都教育大学非常勤講師(1996年3月まで)
 1996(平成8)年 4 月 同志社大学大学院経済学研究科博士後期課程教授
 1996(平成8)年 12 月 滋賀県近江商人研究ネットワーク委員会座長
 (2002年3月まで)

- 1998(平成10)年 4 月 カナダ・プリティッシュ・コロンビア大学客員研究員
(2000年3月まで)
- 2001(平成13)年 4 月 同志社大学『経済学論叢』編集委員長 (2008年3月まで)
- 2004(平成16)年 8 月 放送大学非常勤講師 (2005年3月まで)
- 2007(平成19)年 1 月 経営史学会編集委員 (2010年12月まで)
- 2007(平成19)年 7 月 同志社大学経済学部創立60周年事業実行員会委員長
(2009年3月まで)
- 2012(平成24)年 3 月 アーモスト大学学術交流協定交換教員

末永國紀教授 主要著作目録

単 書

- | | | |
|---------------------------------|--------------|---------|
| 『近代近江商人経営史論』 | 有 斐 閣 | 1997年4月 |
| 『近江商人 現代を生き抜くビジネスの指針』 | 中央公論新社(中公新書) | 2000年5月 |
| 『近江商人学入門——CSRの源流「三方よし」』 | サンライズ出版 | 2004年9月 |
| 『日系カナダ移民の社会史——太平洋を渡った近江商人の末裔たち』 | ミネルヴァ書房 | 2010年2月 |
| 『近江商人 三方よし経営に学ぶ』 | ミネルヴァ書房 | 2011年6月 |

共 著

- | | | |
|--|---|----------|
| 『日本塩業大系』近世 | 日本専売公社 第三章第二節
五(二)「多喜浜塩と野間廻船」 | 1982年3月 |
| 『日本塩業大系』近代 | 日本専売公社 第八章〔付〕
「野間廻船による塩の取引」 | 1982年10月 |
| 『日本経済史——幕藩体制の経済構造』(岡光夫・山崎隆三編著) | ミネルヴァ書房 第四章「全
国市場の成立」 | 1983年3月 |
| 『変革期の商人資本——近江商人丁吟の研究』(丁吟史研究会編) | 吉川弘文館 第一章「近江商
人丁吟の経営」・第三章「金
方の動向」・第六章「小名木
川綿布会社への投資」 | 1984年11月 |
| 『日本経済史——近世から近代へ』(岡光夫・山崎隆三・丹羽邦男編著) | ミネルヴァ書房 第八章「商
業と貿易」 | 1991年4月 |
| 『近江商人の経営遺産——その再評価』(安岡重明・藤田貞一郎・石川健次郎編著) | 同文館 第六章「近江商人の
近代商業資本への転化過程」 | 1992年1月 |

監 修

- | | | |
|--------------|------------|---------|
| 『近江商人の商法と理念』 | 滋賀県アキンド委員会 | 1997年5月 |
|--------------|------------|---------|

辞 書

- | | | |
|--------------|----------------|----------|
| 『朝日日本歴史人物事典』 | 朝 日 新 聞 社 | 1994年11月 |
| 『日本史広辞典』 | 山 川 出 版 | 1997年9月 |
| 『経営学辞典 第2版』 | 神戸大学大学院経営学研究室編 | 1999年9月 |

自治体史

- | | | |
|------------------------|-------------|---------|
| 淀川水運の盛衰 | 『枚方市史』第4巻 | 1980年3月 |
| 野田六左衛門家・矢尾喜兵衛家・小森久左衛門家 | 『日野町の歴史』商人編 | 2012年3月 |

修士論文

- | | | |
|-----------------------------------|--|---------|
| 近世後期における塩の流通——伊予多喜浜塩と尾張野間廻船を中心として | | 1970年3月 |
|-----------------------------------|--|---------|

博士論文

- | | | |
|------------|--|---------|
| 近代近江商人経営史論 | | 1997年1月 |
|------------|--|---------|

論文

- | | | |
|------------------------------------|---------------------------|----------|
| 明治前・中期大阪府下における一商人地主の耕地集積とその態様 | 『日本史研究』第128号 | 1972年9月 |
| 藩領域経済における移出入統制 | 『経済経営論叢』（京都産業大学）第9巻第1号 | 1974年6月 |
| 近江商人の耕地集積——小林吟右衛門家の場合 | 『経済経営論叢』（京都産業大学）第11巻第4号 | 1977年3月 |
| 行商段階における商人資本展開の一樣相——近江商人小林吟右衛門家の場合 | 『経済経営論叢』（京都産業大学）第12巻第2号 | 1977年9月 |
| 近江商人の店員組織——小林吟右衛門家の場合 | 『経済経営論叢』（京都産業大学）第12巻第4号 | 1978年3月 |
| 幕末期商業資本の蓄積過程——近江商人丁吟の場合 | 『経済経営論叢』（京都産業大学）第15巻第1号 | 1980年6月 |
| 幕末動乱期の都市商人資本の動向——近江商人丁吟の場合 | 『経済経営論叢』（京都産業大学）第19巻第1号 | 1984年6月 |
| 幕末の京都両替商の倒産と近江商人——伊勢藤と丁吟を中心に | 『経済経営論叢』（京都産業大学）第20巻第2・3号 | 1985年12月 |
| 商家奉公人の給金制度と生活——近江商人丁吟の場合 | 『経済経営論叢』（京都産業大学）第21巻第1号 | 1986年6月 |
| 第一次大戦期の近江系商人資本の動向——織物問屋・丁吟の場合 | 『経済経営論叢』（京都産業大学）第23巻第1号 | 1988年6月 |
| 両大戦間期の近江系商人資本の動向——織物問屋・丁吟の場合 | 『経済経営論叢』（京都産業大学）第23巻第2号 | 1988年9月 |

- | | | |
|---|---------------------------|----------|
| 明治期近江商人の鉱山投資——丁吟と治田鉱山の場合 | 『経済学論叢』（同志社大学）第42巻第3号 | 1991年3月 |
| 大津・長浜間鉄道連絡汽船会社の創立と近江商人 | 『社会科学』（同志社大学人文科学研究所）第47号 | 1991年8月 |
| 幕末期近江商人の家政改革——山中兵右衛門家の場合 | 『社会科学』（同志社大学人文科学研究所）第52号 | 1994年2月 |
| 松方デフレ期以後の商人資本の全国的動向 | 『経済学論叢』（同志社大学）第46巻第1号 | 1994年12月 |
| 第二次大戦後のカナダにおける日系金融機関の軌跡——バンクーバー共同投資会社の場合 | 『経済学論叢』（同志社大学）第46巻第2号 | 1995年3月 |
| 近江商人中江勝治郎の北米商業視察——三中井創業者 | 『経済学論叢』（同志社大学）第46巻第3号 | 1995年3月 |
| 第一次大戦期の日系カナダ義勇兵と日系社会——義勇兵 三栗谷保の家書を中心に | 同志社大学人文科学研究所『カナダ多民族社会の諸相』 | 1995年10月 |
| 近江商人矢尾喜兵衛家の年中行事と作善——武州秩父店の場合 | 『経済学論叢』（同志社大学）第47巻第4号 | 1996年6月 |
| 滋賀県移民と日系カナダ絹布商社会社「シルコライナー」の創業 | 『経済学論叢』（同志社大学）第49巻第4号 | 1998年3月 |
| 近江商人中村治兵衛宗岸の「書置」と「家訓」について——「三方よし」の原典考証 | 『同志社商学』第50巻第5・6号 | 1999年3月 |
| 商人資本の蓄積過程——近江商人外村与左衛門家の場合 | 『経済学論叢』（同志社大学）第52巻第3号 | 2001年3月 |
| 商人資本の蓄積過程——近江商人矢尾喜兵衛家の場合 | 『経済学論叢』（同志社大学）第54巻第4号 | 2003年3月 |
| 近江商人の出世証文と御礼証文——松居久左衛門家を中心に | 『経済学論叢』（同志社大学）第56巻3号 | 2004年11月 |
| 近江商人の経営理念について——「三方よし」とCSR | 『同志社商学』第56巻第5・6号 | 2005年3月 |
| カナダ・ヴァンクーヴァーにおける日系カナダ人の居住地域と営業活動——1938年の調査と滋賀県出身者を中心に | 『経済学論叢』（同志社大学）第57巻第4号 | 2006年3月 |
| 絹布商社会社「シルコライナー」の経営——滋賀県カナダ移民の定住過程 | 『経済学論叢』（同志社大学）第58巻第2号 | 2006年9月 |
| 呉服商岩城栞屋の店掟と近江商人矢尾喜兵衛の所懐 | 『経済学論叢』（同志社大学）第59巻第2号 | 2007年9月 |

- カナダにおけるリドレス運動の先駆としての家族集団疎開要求——太平洋戦争時の日系カナダ二世の苦闘 『経済学論叢』（同志社大学） 2008年7月第60巻第1号
- 近江商人松居久左衛門家の蓄積と理念 『経済学論叢』（同志社大学） 2010年1月第61巻第3号
- 近江商人野田六左衛門家の系譜と蓄積 『経済学論叢』（同志社大学） 2011年3月第62巻第4号
- 近江商人小森久左衛門家の経営 『経済学論叢』（同志社大学） 2012年7月第64巻第1号

研究ノート

- 近世後期における塩の流通と廻船商業活動——伊予多喜浜塩と尾張野間廻船 『経済学論叢』（同志社大学） 1972年12月第20巻第6号
- 明治期在来海運業の推移——尾張野間廻船の場合 『経済学論叢』（同志社大学） 1973年5月第21巻第1・2号
- 小林吟右衛門家の家法 『経済経営論叢』（京都産業大学） 第13巻第1号 1978年6月
- 近江商人難船水死事故一件——行商活動の一齣 『経済経営論叢』（京都産業大学） 第14巻3号 1979年12月
- 通商・為替会社と商人資本——近江商人・丁吟の場合 『市場史研究』 第6号 1989年6月
- ヴェトナム紀行 『経済学論叢』（同志社大学） 2010年1月第61巻第3号

史料

- 近江商人小林吟右衛門家の経営書簡集（抄）一 『経済経営論叢』（京都産業大学） 第19巻第1号 1984年6月
- 近江商人小林吟右衛門家の経営書簡集（抄）二 ——嘉永七年本店宛江戸店・京店書簡 『経済経営論叢』（京都産業大学） 第19巻第2号 1984年9月
- 近江商人小林吟右衛門家の経営書簡集（抄）三 ——安政二・三年本店宛江戸店・京店書簡 『経済経営論叢』（京都産業大学） 第19巻3号 1984年12月
- 近江商人小林吟右衛門家の経営書簡集（抄）四 ——安政元年～五年本店宛江戸店・京店書簡 『経済経営論叢』（京都産業大学） 第19巻4号 1985年3月
- 近江商人小林吟右衛門家の経営書簡集（抄）五 ——安政六年本店宛江戸店・京店書簡 『経済経営論叢』（京都産業大学） 第20巻1号 1985年6月

- | | | |
|---|------------------------------|----------|
| 近江商人小林吟右衛門家の経営書簡集
(抄)六 ——万延元年本店宛江戸店・
京店書簡 | 『経済経営論叢』(京都産業大
学)第20巻4号 | 1986年3月 |
| 近江商人小林吟右衛門家の経営書簡集
(抄)七 ——文久元年正月～六月本店
宛江戸店・京店書簡 | 『経済経営論叢』(京都産業大
学)第21巻第2号 | 1986年9月 |
| 近江商人小林吟右衛門家の経営書簡集
(抄)八 ——文久元年七月～十二月本
店宛江戸店・京店書簡 | 『経済経営論叢』(京都産業大
学)第21巻第3号 | 1986年12月 |
| 近江商人小林吟右衛門家の経営書簡集
(抄)九 ——文久元年九月～十一月大
坂店宛京店書簡 | 『経済学論叢』(同志社大学)
第53巻第1号 | 2001年6月 |
| 近江商人矢尾喜兵衛家『所々風聴来状留』
(本村希代・上野山学・奥田以在と共著) | 『社会科学』(同志社大学人文
科学研究所)第69号 | 2002年9月 |
| 近江商人矢尾喜兵衛家の天保年間『覚』(本
村希代・上野山学・奥田以在と共著) | 『経済学論叢』(同志社大学)
第55巻第2号 | 2003年9月 |
| 近江商人の衰亡譚「続考見録 草稿」(本
村希代・上野山学・奥田以在と共著) | 『経済学論叢』(同志社大学)
第56巻第2号 | 2004年7月 |
| 近江商人矢尾家の遺言書(本村希代・奥
田以在と共著) | 『経済学論叢』(同志社大学)
第56巻3号 | 2004年11月 |
| 近江商人の石門心学修養録「商主心法
道中独問答寝言」(本村希代・奥田以在
と共著) | 『経済学論叢』(同志社大学)
第57巻第2号 | 2005年9月 |
| 近江商人の道中記『木曾日記 一』(本村
希代・奥田以在と共著) | 『経済学論叢』(同志社大学)
第58巻第1号 | 2006年6月 |
| 近江商人の道中記『木曾日記 二』(本村
希代・奥田以在と共著) | 『経済学論叢』(同志社大学)
第58巻第2号 | 2006年9月 |
| 近江商人の道中記『木曾日記 三』(本村
希代・奥田以在と共著) | 『経済学論叢』(同志社大学)
第58巻第3号 | 2006年12月 |
| 近江商人塚本孝左衛門家の家訓一「規則
守福路」 | 『経済学論叢』(同志社大学)
第59巻第1号 | 2007年7月 |
| 近江商人野田六左衛門家の家訓と店則 | 『経済学論叢』(同志社大学)
第63巻第2号 | 2011年9月 |

書 評

- | | | |
|----------------------------|-----------------|---------|
| 賀川隆行『近世三井経営史の研究』 | 『社会経済史学』第51巻第4号 | 1986年1月 |
| 山口和雄・石井寛治編著『近代日本の商
品流通』 | 『経営史学』第22巻第2号 | 1987年7月 |

宮本又郎『近世日本の市場経済——大坂米市場分析』	有斐閣 The Market Economy in Japan in the Edo Period —An analysis of the Rice Market in Osaka」『Japanese Yearbook on Business History』Vol.6	1989年1月
山口徹『日本近世商業史の研究』	『経営史学』第28巻第2号	1993年7月

新聞寄稿

江頭恒治先生を想う	佐賀新聞	1978年12月18日
近江現論 故郷への思い 連帯に感銘——県人会世界大会に参加	朝日新聞	1993年9月17日
後進育て在地に寄与した近江商人	京都新聞	1996年10月30日
西武は近江商人にあらず	朝日新聞	2005年4月28日
私論公論 立ち返りたい「三方よし」	京都新聞	2008年7月4日

その他

現代に生きる近江商人の知恵	千代田火災海上保険株式会社『CHANCE』第25号	1994年1月
カナダの贈物	同志社大学経済学部『父兄会報』第65号	1994年12月
至福の時	同志社大学通信「ONE PURPOSE」	1995年10月
外与三百年の歩み	近江商人博物館『外村与左衛門展 図録』	2000年11月
現代に息づく近江商人の家訓	滋賀県文化振興事業団『湖国と文化』第25巻1号	2001年1月
三方よし	滋賀銀行『かけはし』第1巻1号	2001年4月
「三方よし」の家訓を訪ねて	同志社大学『同経会報』第63号	2001年4月
近江商人と「三方よし」の精神	財団法人モラロジー研究所『道経塾』第2巻第6号	2001年4月
正当な利益	滋賀銀行『かけはし』第1巻2号	2001年5月

陰徳善事	滋賀銀行『かけはし』第1巻 3号	2001年6月
押込め隠居	滋賀銀行『かけはし』第1巻 4号	2001年7月
始末して、きばる	滋賀銀行『かけはし』第1巻 5号	2001年8月
才覚と工夫	滋賀銀行『かけはし』第1巻 6号	2001年9月
創業の決意	滋賀銀行『かけはし』第1巻 7号	2001年10月
小商人の気概	滋賀銀行『かけはし』第1巻 8号	2001年11月
持下り商い	滋賀銀行『かけはし』第1巻 9号	2001年12月
諸国産物廻しの商法	滋賀銀行『かけはし』第1巻 10号	2002年1月
出店・枝店と乗合商い	滋賀銀行『かけはし』第1巻 11号	2002年2月
情報の活用	滋賀銀行『かけはし』第1巻 12号	2002年3月
現代に生かす近江商人の知恵	(助納税協会連合会『ふれあい』 第65号)	2002年3月
登り制度	滋賀銀行『かけはし』第1巻 13号	2002年4月
四〇〇年の礎・創業期の西川甚五郎家	社団法人中小企業診断協会 『企業診断』第49巻第4号	2002年4月
妻の役割	滋賀銀行『かけはし』第1巻 14号	2002年5月
矢尾喜兵衛家の徳義	社団法人中小企業診断協会 『企業診断』第49巻第5号	2002年5月
風雅の楽しみ	滋賀銀行『かけはし』第1巻 15号	2002年6月
幕末動乱期の小林吟右衛門家	社団法人中小企業診断協会 『企業診断』第49巻第6号	2002年6月
商人と大名	滋賀銀行『かけはし』第1巻 16号	2002年7月
桜田門外の変	滋賀銀行『かけはし』第1巻 17号	2002年8月

信仰心	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2002年9月 18号
横浜ゴールドラッシュ	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2002年10月 19号
両替商の倒産	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2002年11月 20号
天誅騒動	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2002年12月 21号
明治の航跡	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2003年1月 22号
中国大陸への出店	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2003年2月 23頁
湖東カナダ移民	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2003年3月 24号
企業の地域貢献	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2003年4月 25号
ベンチャー企業への投資	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2003年5月 26号
顧客満足	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2003年6月 27号
収益力と企業価値	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2003年7月 28号
企業統治の強化	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2003年8月 29号
経営の視点とリストラ	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2003年9月 30号
経済のグローバル化と中国投資	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2003年10月 31号
CSR（企業の社会的責任）ということ	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2003年11月 32号
債権放棄と出世証文	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2003年12月 33号
技術力と創意工夫	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2004年1月 34号
創業者の晩節	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2004年2月 35号
老舗の倒産と経営者の資質	滋賀銀行『かけはし』第1巻	2004年3月 36号

近江商人の「三方よし」の現代的意義	日本電気協会『電気協会報』第 961 号	2004 年 12 月
日本生え抜きの CSR 経営の原点	株式会社宣伝会議『人間会議』第 11 号	2004 年 12 月
未来への示唆 循環型社会への展望	循環型社会システム研究所『M・O・H 通信』4 号	2004 年 12 月
売り手よし、買い手よし、世間よし	日本アイ・ビー・エム株式会社『無限大』117 号	2005 年 6 月
CSR と三方よし	循環型社会システム研究所『M・O・H 通信』15 号	2006 年 12 月
学恩に謝す	『安岡重明先生 喜寿記念文集』	2007 年 1 月
近江商人と近江鉄道	国宝・彦根城築城 400 年祭実行委員会『近江鉄道コレクションブック』	2007 年 3 月
矢尾喜兵衛家の遺言	循環型社会システム研究所『M・O・H 通信』16 号	2007 年 3 月
矢尾喜兵衛の所感 一	循環型社会システム研究所『M・O・H 通信』17 号	2007 年 6 月
矢尾喜兵衛家の所感 二	循環型社会システム研究所『M・O・H 通信』18 号	2007 年 9 月
近江商人にみる CSR	日本経済新聞社『日経ブランディング』	2007 年 12 月
矢尾喜兵衛家の所感 三	循環型社会システム研究所『M・O・H 通信』19 号	2007 年 12 月
矢尾喜兵衛家の所感 四	循環型社会システム研究所『M・O・H 通信』20 号	2008 年 3 月
私が今日も「蔵」に入る理由	『世の中がわかる経済学のはなし』同志社大学経済学会	2008 年 5 月
近江大店の後継者の養成	循環型社会システム研究所『M・O・H 通信』21 号	2008 年 6 月
近江大店の店員養成と人物評価	循環型社会システム研究所『M・O・H 通信』22 号	2008 年 9 月
経済学部創立 60 周年記念事業に寄せて	『同志社大学広報』第 403 号	2008 年 10 月
石田梅岩	株式会社宣伝会議『人間会議』第 19 号	2008 年 12 月
近江商人の幼児教育論	循環型社会システム研究所『M・O・H 通信』23 号	2008 年 12 月

M.W. ヴォーリズの「三方よし」人生	循環型社会システム研究所 『M・O・H通信』24号	2009年3月
近江商人とは、どんな人々だったのか	『納税月報』736号	2009年4月
CSRの源流としての「三方よし」の考え方	『納税月報』737号	2009年5月
商人としての特性	『納税月報』738号	2009年6月
近代経営への芽生え	循環型社会システム研究所 『M・O・H通信』25号	2009年6月
先進的な商いの手法	『納税月報』739号	2009年7月
文化の伝播者	『納税月報』741号	2009年9月
初代塚本定右衛門の道歌	循環型社会システム研究所 『M・O・H通信』26号	2009年9月
市場開拓	『納税月報』742号	2009年10月
東南アジアと韓国での活躍	『納税月報』743号	2009年11月
海外渡航と経営判断	『納税月報』744号	2009年12月
二代目塚本定右衛門の座右の銘 薄利広商	循環型社会システム研究所 『M・O・H通信』27号	2009年12月
中江勝治郎と禁酒法下のアメリカ	『納税月報』745号	2010年1月
カナダ移民となった近江商人の後輩たち	『納税月報』746号	2010年2月
開港による海外貿易への覚醒	『納税月報』747号	2010年3月
経営は生き物 二代目塚本定右衛門の格言	循環型社会システム研究所 『M・O・H通信』28号	2010年3月
初代伊藤忠兵衛の節義と果敢な大阪出店	『納税月報』748号	2010年4月
初代伊藤忠兵衛の人材育成	『納税月報』749号	2010年5月
諸葛孔明の家訓と矢尾喜兵衛の石門心学	『納税月報』750号	2010年6月
陽徳から陰徳へ 塚本定次・正之兄弟の 治山治水事業	循環型社会システム研究所 『M・O・H通信』29号	2010年6月
矢尾喜兵衛家の奉公人慈育	『納税月報』751号	2010年7月
商いの常備軍、在所登り制度	『納税月報』752号	2010年8月
妻の役割、伊藤忠兵衛の妻「八重」のこと	『納税月報』753号	2010年9月
近江商人系老舗企業に学ぶ	株式会社自然総研『TOYRO BUSINESS』第145号	2010年9月
釜屋小森久左衛門家の歴代とお助け普請	循環型社会システム研究所 『M・O・H通信』30号	2010年9月
家業承継における女性の役割	『納税月報』754号	2010年10月
汐踏み修行、商家の妻の育て方	『納税月報』755号	2010年11月
444年の事業承継	『納税月報』756号	2010年12月

野田六左衛門家の系譜と押込め隠居	循環型社会システム研究所 『M・O・H通信』31号	2010年12月
商いの手法と薄利の勧め	『納税月報』757号	2011年1月
商人の極意、売って悔やむ	『納税月報』758号	2011年2月
商人の正直と薄欲	『納税月報』759号	2011年3月
番外編 大震災に寄せて 今こそ希望を	循環型社会システム研究所 『M・O・H通信』32号	2011年3月
我が身に富をいたす道	『納税月報』760号	2011年4月
信仰と奢りへの自戒	『納税月報』761号	2011年5月
立志伝中の人、初代中井源左衛門	『納税月報』762号	2011年6月
山中兵右衛門家の承継と奉公人	循環型社会システム研究所 『M・O・H通信』33号	2011年6月
善人祈願を受け継ぐ陰徳善事	『納税月報』763号	2011年7月
勝海舟を賛嘆させた塚本定次・正之兄弟	『納税月報』764号	2011年8月
還暦記念に小学校寄贈	『納税月報』765号	2011年9月
番外編Ⅱ 大震災に寄せて 海外移住者の の真情	循環型社会システム研究所 『M・O・H通信』34号	2011年9月
三方よしの経営学	産業雇用安定センター『かけ はし』第25巻第10号	2011年9月
近江商人「三方よし」に学ぶ	株式会社コスモ教育出版『理 念と経営』第69号	2011年9月
出世証文と後進の育成	『納税月報』766号	2011年10月
文人になった商人	『納税月報』767号	2011年11月
たしなみの域を超える余技	『納税月報』768号	2011年12月
後継者育成に尽くした女性 西谷善蔵の母	循環型社会システム研究所 『M・O・H通信』35号	2011年12月
大名と外来商人	『納税月報』769号	2012年1月
幕末の受難	『納税月報』770号	2012年2月
徒手空拳から近代実業家へ	『納税月報』771号	2012年3月
承継者としての二代目の役割	『納税月報』772号	2012年4月
今も生きる近江商人の知恵	株式会社宣伝会議『販促会議』 第168号	2012年4月
本業の維持と多角化	『納税月報』773号	2012年5月
老舗企業大国と三方よし	一般社団法人日本経営協会 『オムニ・マネジメント』 第21巻第5号	2012年5月

商売替え法度と時代に沿った創意工夫	『納税月報』774号	2012年6月
先進的な商法と文化の伝播者	一般社団法人日本経営協会 『オムニ・マネジメント』 第21巻第6号	2012年6月
勤儉に興り遊惰に減んだ商家	『納税月報』775号	2012年7月
三方よしの原典と石門心学	一般社団法人日本経営協会 『オムニ・マネジメント』 第21巻第7号	2012年7月
家業永続とトップの資質	『納税月報』776号	2012年8月
老舗と顧客満足	一般社団法人日本経営協会 『オムニ・マネジメント』 第21巻第8号	2012年8月
押込め隠居の決断	『納税月報』777号	2012年9月
商いの極意	一般社団法人日本経営協会 『オムニ・マネジメント』 第21巻第9号	2012年9月
アリギリスという生き方	『納税月報』778号	2012年10月
近江商人 三方よしと現代経営	財団法人企業経営研究所 『Suruga Institute Report』 第120号	2012年10月
初代中井源左衛門の立志伝	一般社団法人日本経営協会 『オムニ・マネジメント』 第21巻第10号	2012年10月
利を手にする作法	『納税月報』779号	2012年11月
時代に即した業態で成長した滋賀・西川家	株式会社リベラルタイム出版 社『リベラルタイム』第12 巻第11号	2012年11月
時代の寵児、時代を読む	一般社団法人日本経営協会 『オムニ・マネジメント』 第21巻第11号	2012年11月
出店経営と他国者意識	『納税月報』780号	2012年12月
大団円、遷暦記念の小学校寄贈	一般社団法人日本経営協会 『オムニ・マネジメント』 第21巻第12号	2012年12月
修養と遊楽	『納税月報』781号	2013年1月
商いに流れる世の中への配慮	一般社団法人日本経営協会 『オムニ・マネジメント』 第22巻第1号	2013年1月